

学生ピアゲートキーパー育成プログラムの効果検証研究へのご協力をお願い

※本研究では、計3回のアンケート調査全てに回答していただいた参加者の方に、1,200円分のAmazonギフト券を謝礼としてお支払い致します。(募集人数128名を超えた応募があった場合は、抽選とさせていただきます。)

1. 研究の概要

【研究課題】 学生ピアゲートキーパー育成プログラムの効果検証

【審査番号】 2020234NI

【研究期間】 倫理審査承認日～2025年9月30日

【研究機関名及び研究責任者・実施者氏名】 この研究が行われる研究機関、研究責任者、研究担当者は次に示す通りです。

研究機関：東京大学大学院医学系研究科

研究責任者：宮本 有紀（東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野・准教授）

研究実施者：野沢 恭介（東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野・博士課程院生）

【研究の目的、意義】

自殺は、世界的に重要な健康課題です。過去12年間、我が国は高い自殺率でした。中でも、日本における若年層（10～39歳）の死因順位の1位は自殺となっており、国際的にも、15～34歳の死因順位の1位が自殺となっているのはG7の中で日本のみです（内閣府, 2018）。したがって、若年者に対する自殺予防対策は急務です。

ゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のことで、「命の門番」とも位置付けられています。自殺対策では、悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して「孤立・孤独」を防ぎ、支援することが重要です。そこで、本研究では、我々が開発した、このゲートキーパーを養成するための若者向けプログラムを学生の皆様に受講していただき、悩んでいる人に寄り添ったり、関わったりする力や姿勢が高まるかを検証し、学生の皆様への効果を明らかにすることを目的としています。このプログラムの効果が明らかになれば、日本で、悩んでいる人に寄り添ったり、関わったりする力を持った学生が増えることが期待されます。

【研究対象者】

以下の条件をすべて満たしている方に、研究参加のお願いをしております。

- ①18歳以上29歳以下の方
- ②日本の大学院、大学、短期大学、専門学校、高等専門学校に在籍している学生の方
- ③オンラインでの動画視聴やコメントの書き込み、およびメールによるやり取りが可能な方
- ④提供されるプログラムが自殺予防に関するプログラムであることを了承した方

※以下の方はご参加頂けません。

- ①日本語の読み書きができない方
- ②常勤でお仕事をされている方（アルバイトは可能です）

【オンラインゲートキーパープログラム】

プログラム動画は6セクションから構成され、全部で80分程度の受講時間です。
専用のホームページから、ご視聴いただきます。

【研究の手順】

- 1) 本研究説明文章をお読みいただき、研究参加いただける場合は、本文章の最後尾にございます『同意する』というボタンを押してください。
- 2) 研究参加にご同意いただいた方は、引き続いて初回アンケート調査（WEB形式）にご回答いただきます（所要時間30分）。
- 3) 初回アンケート調査にご回答いただいた方は、先発群と後発群のどちらかに割り振られたかをメールにて通知されます。

（先発群になった場合）

- 4) プログラムを受講（動画視聴とコメント書き込み）していただきます。
- 5) プログラム受講終了後、受講後（2回目）アンケート調査に回答いただきます。
回答方法は、研究実施者から送信されるメールやプログラム動画内でご説明します。回答には約25分かかります。
- 6) プログラム終了から約2か月後に3回目のアンケート調査（WEB形式）を行います。

（後発群になった場合）

- 4) 初回アンケート調査から約3週間後に2回目アンケート調査のURLを送信させていただきます。回答には約25分かかります。
- 5) 初回アンケート調査から約3ヶ月後に3回目のアンケート調査（WEB形式）を行います。
- 6) 3回目のアンケート調査回答終了後、希望者にプログラム（動画視聴とコメント書き込み）が提供されます。

【研究期間】

研究期間は、研究開始から5年間（2025年9月30日まで）を予定しております。

2. 研究協力の任意性と撤回の自由

本研究への参加は、皆さまの自由な意思でお決めいただきます。ご参加いただけない場合にも不利益はまったく生じません。また、研究参加中、後でも申し出があれば、自由に協力を取りやめることができます。もし同意を撤回される場合は、その旨をメールにて、本文書の一番下にございますメールアドレス宛にご連絡いただきたく存じます。ご本人の申し出があれば、可能な限り収集された情報・データ等及び調べた結果を廃棄します。ただし、同意を撤回されたとき、既にデータ解析終了後の場合、個々のデータを

取り除くことができないため、廃棄することができませんのでご了承ください。

3. 個人情報の保護

この研究において収集させていただく情報・データ等は、外部に漏えいすることがないように慎重に取り扱います。皆さまの情報・データ等は、解析する前にメールアドレス等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において宮本有紀(管理責任者)が、鍵のかかる研究室内のロッカーに施錠のうえ厳重に保管します。個人とデータとの照合表は、管理責任者のみ見ることができます。研究終了後、すべてのデータは責任を持って廃棄します。また個人とデータとの照合表も削除致します。

4. 研究結果の公表

研究の結果は、個人がわからないようにした上で、集団として統計的に解析され、報告書、学会発表および学術雑誌での論文等で公表致します。個人名が出るようなことは一切ありません。また、研究期間内に個人的な結果に関するお問い合わせがあった場合、全体の結果についてお伝えし、個別の結果についてはお伝えできません。研究終了後はデータが破棄されているため、個人の結果についてお伝えすることはできません。

5. 研究参加者にもたらされる利益および負担・不利益について

この研究が、あなたに直ちに有益な情報をもたらす可能性は高いとはいえません。しかし、学生向けのゲートキーパープログラムの開発は、今後、学生のメンタルヘルス向上に寄与することが期待されます。なお、研究に参加しない参加者への不利益は一切生じません。また、ゲートキーパーの知識は一度身に付けると一生使えるメンタルヘルスに関するスキルとなるため、参加者の方への利益になると考えられます。本研究では、全3回のアンケート調査全てに回答していただいた参加者の方に、1,200円分のAmazonギフト券を謝礼としてお支払い致します。(募集人数128名を超えた応募があった場合は、抽選とさせていただきます。)

6. 研究終了後の資料(試料)等の取扱方針

研究参加者の皆様にご協力いただいた個人情報の記載されたデータ等は、この研究のためにのみ使用します。研究終了後5年間保管後、個人情報が記録されたデータは、すみやかに削除し、廃棄します。

7. 費用負担

今回の研究に必要な費用について、皆さまにご負担を求めることはありません。

8. 研究から生じる知的財産権の帰属

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります。その権利は国、研究機関、民間企業を含む共同研究機関及び研究従事者などに属し、皆さまはこの特許権等を持ちません。また、その特許権等に基づき経済的利益が生じる可能性があります。これについての権利も持ちません。

9. 研究資金

本研究は「公益財団法人 医療科学研究所」の2020年度研究助成において実施されます。本研究に関し、民間企業や関連団体との利益相反はありません。

10. その他

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。研究に関してご質問等ございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

研究機関：東京大学大学院医学系研究科

研究責任者：宮本 有紀（東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野・准教授）

研究担当者：野沢 恭介（東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野・博士課程院生）

研究協力者：特定非営利活動法人 Light Ring.

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科 精神保健学/精神看護学分野

メールアドレス：gatekeeper.program@gmail.com
